

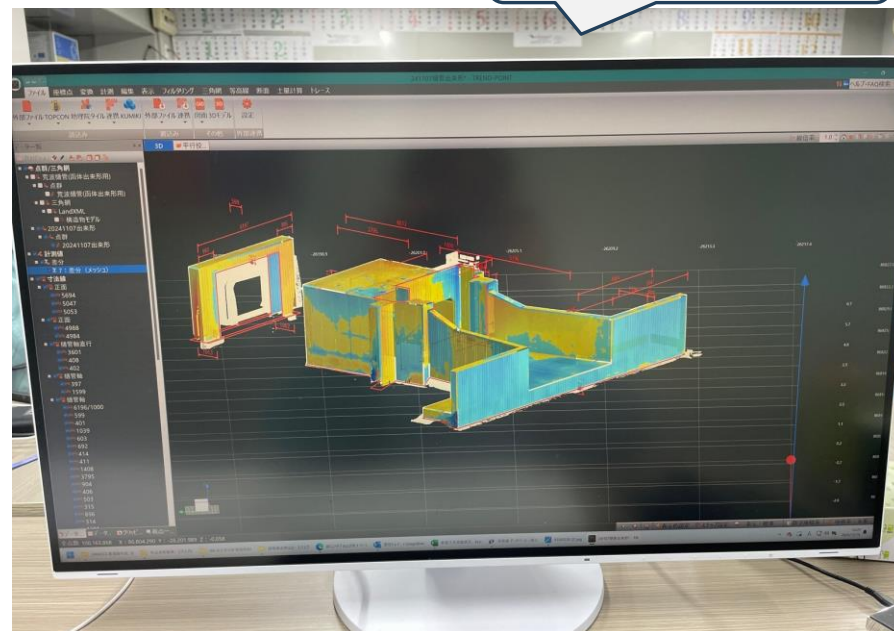
BIM/CIM活用事例④ 3次元計測技術を用いた出来形管理

国土交通省ではBIM/CIMの活用を進めています。
利根川下流河川事務所管内の樋管工事での活用事例をご紹介します。

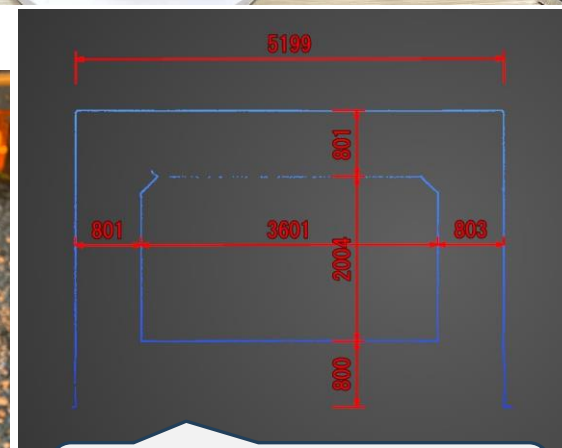
色により設計値との差を表示し出来映えを評価

工事名：R 5 利根川左岸荒波樋管新設工事
施工業者：岡田土建（株）

- ・CIMデータを活用し、樋管函体施工後に3次元計測技術を用いた出来形管理を実施。
- ・函体完成後にTLSで構造物をスキャン。
- ・PC上で構造物の任意の箇所を指定すると部材の厚さ、幅、高さが表示される。
- ・表示値を出来形管理図表に入力して出来形を管理。
- ・従来の検尺テープ等による計測方法と比べて、安全性、生産性の向上が図られた。



地上レーザースキャナ（TLS）
で構造物の形状を計測



パソコン上で任意の箇所を指定
すると、幅、高さ、厚さなどが
表示される